市立函館病院で
診療を受けられた患者さんへ
～臨床研究に関する情報公開について～

当院では、下記の研究を実施しております。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。また、研究の詳細についてお知りになりたい場合も、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。なお、研究の詳細については、他の研究対象者等の第三者の個人情報や知的財産の保護に支障がない範囲内での開示となります。

研究課題名	急性期病院におけるリハビリテーション栄養口腔連携体制の取り組みが入院患者の身体機能、日常生活自立度、再入院および医療費へ与える影響―国内多施設観察研究―			
研究実施期間	院長が研究実施を許可した日　～（西暦）　2028 年 3 月 31 日			
研究実施診療科	リハビリ技術部リハビリ技術科			
対象となる方	2023 年 4 月から 2025 年 12 月までの期間に、当院に入院し退院された方を対象とします。			
主たる研究実施機関	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 （研究代表者氏名：永田英貴）			
共同研究機関	別紙【研究組織】参照			
共同研究機関 （当院）の長の氏名	市立函館病院　病院長　森下　清文			
当院の研究責任者	所属	リハビリ技術部 リハビリ技術科	氏名	小笠原　聡之
研究の意義・目的	入院患者さんへリハビリテーションを効率的に早期から開始する方法のひとつとして、療法士を病棟へ配属することが挙げられます。病棟へ療法士を配属することは、入院からリハビリテーション開始までの日数を短縮し（平均 11.7 日→3.7 日）、入院期間を短縮する（平均 41.8 日→26.1 日）ことが報告されています。しかし、この報告では療法士の配属前より入院からリハビリテーション開始までの日数が長く（当院は 3 日程度）、在院日数も長期間であることから、一般的な急性期病院の病棟とは運用が異なる可能性があります。したがって、急性期病院において、療法士を病棟へ配属する効果を一般化できるものではないと考えられます。また、栄養状態や口腔環境も在院日数に影響する要因と考えられています。療法士を病棟へ配置し、栄養状態および口腔環境を考えてリハビリテーションに取り組む体制は、入院患者さんの日常生活動作（ADL）の低下を予防し、在院日数を短縮させる可能性がありますが、これまでのところこのような取り組みの効果は報告されていません。 今回、このような取り組み（療法士を病棟へ配置）を行っている国内の複数の施設において、配置された療法士がリハビリテーション・栄養・口腔連携の取り組みを行った結果を検証します。			
研究の方法	対象となる方の臨床情報について、診療録を振り返って収集し、集められた情報を研究代表者とデータマネジメント・統計解析担当者が解析します。			
研究に使用するもの	診療録から得られる情報を、個人を直ちに特定できるような情報とは			

	切り離した状態で使用します。年齢、性別、BMI、診断名、既往歴、入院前の介護保険の有無と介護度、入院日、手術の有無、手術名、ADL、リハビリ介入の有無、リハビリ処方日、疾患別リハビリの分類、リハビリ実施日数、リハビリ実施総単位数、リハビリテーション栄養口腔連携体制加算の算定回数、歯科口腔外科の介入有無、GLIM 基準、食事開始時期（検査のための絶食は除く）、OHAT(Oral Health Assessment Tool)スコア、在院日数、医療費、再入院（30 日、180 日）など。
結果の公表	関連学会や学術論文等で発表予定です。対象者の氏名等の、直ちに個人を特定できる情報を公表することはありません。
個人情報の保護	対象者の方の情報の使用に際しては、氏名や住所等といった個人を直ちに特定できるような情報とは切り離し、対象者個人とは無関係の番号を付けた上で、研究責任者の責任の下、廃棄するまで厳重に保管・管理します。
研究の資金源	公益社団法人日本理学療法士協会よりエビデンス構築研究費として 125 万円の助成を受けています。
利益相反	本研究の実施にあたり、研究の透明性や公正性を損なうような利益相反はありません。
情報等の二次利用	本研究で得られた情報等は、将来、本研究に関連する別の研究のために利用させていただく可能性があります。その場合には、その計画について別途倫理審査を受け、承認を得た上で使用します。二次利用を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。
問い合わせ先	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 医療技術部リハビリテーション科　永田　英貴 電話　052-832-1121（代表）
当院の問い合わせ先	市立函館恵山病院 医療部　山下　康次（研究分担者） 電話　0138-85-2001（代表）

≪別紙≫

【研究組織】

1．研究代表者

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院　医療技術部リハビリテーション科　永田英貴

2．共同研究者

所　属	責任者
神戸市立医療センター中央市民病院リハビリテーション技術部	岩田健太郎
広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門	金島侑司
順天堂大学医院	山田莞爾
産業医科大学産業生態科学研究所作業関連疾患予防学研究室	松垣竜太郎
国立長寿医療研究センター老年学・社会科学研究センター老年社会科学研究部	宇田和晃
聖マリアンナ医科大学病院	八木麻衣子
亀田メディカルセンターリハビリテーション事業管理部	村永信吾

3．研究実施施設（予定）

施設名	研究責任者
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院	永田　英貴
神戸市立医療センター中央市民病院	岩田　健太郎
広島大学病院	平田　和彦
産業医科大学	松垣　竜太郎
国立長寿医療研究センター	宇田　和晃
順天堂大学	山田　莞爾
一宮西病院	水谷　元樹
名古屋掖済会病院	森　雅大
上尾中央総合病院	久保田めぐみ
南東北グループ 医療法人社団 三成会 新百合ヶ丘総合病院	松本　恭徳
一般財団法人 竹田健康財団 竹田綜合病院	塚田　徹
東京西徳州会病院	小林　裕明
市立函館病院	小笠原　聡之